


特集は私たち、まちづくり情報特派員がつくりました！

まちづくり情報特派員は、町の広報広聴活動の推進を図るため、広報かいせいへの情報提供や記事の執筆をはじめ、町政モニターとしての役割を担っています。

今回の特集号では、まちづくり情報特派員が自らインタビューや撮影など取材し、編集したものです。現在活躍中のまちづくり情報特派員5人を紹介します。

企画政策課 ☎84-0312



小野龍男
平成19年5月就任

①まちづくり情報特派員を経験した友人から誘われて応募しました。取材を通して、色々努力されている人たちに感動し、生きる力を与えてもらっています。②私の散歩コースである延沢、岡野、金井島の田園風景。空気も良く、四季の変わりを感じさせてくれる自然な場所です。



石崎雅美 (幹事)
平成15年4月就任

①普段何気なく暮らしている町のことをもっとよく知ることができたらという思いから応募しました。特派員レポートの取材や執筆などで、町民の視線を反映できるのは、とてもよいと思います。②風景では、緑の屋敷林に囲まれた瀬戸屋敷、町中に網の目のように張り巡らされている水路など、身近に田園風景があるところ。暮らしでは、顔の見えるコミュニティが発達しているところ。



荻野安夫 (代表幹事)
平成17年4月就任

①町のことをより知るきっかけになればと思います。応募しました。取材を通して、多くの人に出会えました。町政にも関心が持て、町の歴史や文化に触れる機会に恵まれたことに感謝しています。②身近に、美しい流れの酒匂川、水辺スポーツ公園、田園風景、瀬戸屋敷があり、のどかで穏やかに暮らせるところ。穏やかな暮らしが永久に続くことを願っています。

①特派員の志望動機、これまでの感想

②開成町の好きなお話

※現在の特派員の任期は、平成21年3月31日まで



前田せつよ
平成17年4月就任

①5年前、町に引っ越してきました。1日でも早く、ひとつでも多く、町のことを知る機会はないだろうかと考えていたところ、友人に勧められて応募しました。特派員となって、ますますこの町が好きになりました。②どこを切り取っても一枚の絵になる素敵な風景ばかりだと誇れる町。自治会などの活動も活発で、さまざまな角度から発展を願う人が大勢いるところ。



鳥海均
平成20年11月就任

①社会教育と学校教育に携わった経験を少しでも生かせるのではと考え応募しました。皆さんに読んでもらえる広報づくりに参加できたらと思います。②適度な田舎の雰囲気が残り、その中に都市化の調和が取れて、躍進する活力を感じる。スポーツ活動が盛んで、文化活動を含め、生涯学習に潤いと活力があるところ。



「親子で触れ合う時間を楽しんで過ごしてほしい」と舟橋さん 講座ではハンカチを使うことも。子どもは「ばあ」が大好き。



「ぎっちらこぎっちらこ」親子のふれあいはたいせつです。

「わらべうた」の力を借りて

講座では、まずは親子で、そして、参加者みんなに輪を広げていきます。子どもたちの様子を見ながら講座を組み立てるそうです。わらべうたには、親子で十分触れ合いを味わえるものから、みんなで「ルール」や「かけひき」を楽しめるものまでさまざまな種類があり、「遊びを通して子どもたちは成長していきます」と語ってくれました。

「みんながひとつになる空気感が、たまらなくいいものです」「折に触れ、親子で歌ってくれたらうれしい」とも。わらべうたは、地域によって、歌詞も音も違うものがありますが、講座で紹介するために、同じような活動をしている先輩に聞いたり、いろいろな角度から、学んだりしているそうです。わらべうたに対する思いを「幼児期にお父さんやお母さんといっぱい遊んで欲しいので、わらべうたの力を借りながらわらべうたの持つ計りしれない力を伝えていきたい」と舟橋さんは熱く語ってくれました。

◆取材をして一言

わらべうたは、親から子へ、地域のお年寄りから子へと、歌いつがれていく、生活感、季節感のあるたいせつな歌だと、あらためて思いました。

懐かしいメロディーと匂いもするわらべうたは、景色が鮮明に、暖かく浮かんできます。郷愁を感じ、昔の話で、懐かしむもので留まってしまうのは、大変にもったいないことであると思います。日本の原風景、人と人、親子と…。

今の世相の中で、一番不足しているものが、たつぷりと詰まった、みずみずしい宝物。身も心もその歌に揺られながら、心地よい時間をそれぞれに、ぜひ、味わってみてはいかがでしょうか？

取材を終えて

うるおいと生きがいと満ちたまちづくりの推進と、子どもたちを取り巻く良い環境づくりのために、尽力されているボランティアのかたがたの活躍を特集しました。

子どもたちとの触れ合い、地域でのコミュニケーションなど、とすれば薄れつつある環境の中で、皆さんの取り組みを力強く感じました。

子育てとは「赤ん坊の時には肌を離すな、幼児の時には手を離すな、子どもの時には目を離すな、少年の時には心を離すな」と聞いたことがあります。

各分野でご活躍の皆さんに今後も期待するとともに、私たちもたいせつな子どもたちを守り、育てていきたいと思えます。

取材に、ご協力してくださったかたがたに厚くお礼を申し上げます。

- まちづくり情報特派員
- 荻野 安夫 (代表幹事)
 - 石崎 雅美 (幹事)
 - 小野 龍男
 - 鳥海 均
 - 前田 せつよ

新規募集!

平成21・22年度のまちづくり情報特派員を募集しています!

あなたも町の広報広聴活動に参加してみませんか。

- 【応募資格】** ◆町内在住の18歳以上(平成21年4月1日現在)のかた ◆平日に開催するまちづくり情報特派員の会議(年間8回程度)に出席できるかた ◆町の広報広聴活動に参加する意欲があるかた
- 【活動内容】** ◆「広報かいせい」への情報提供や記事の執筆(随時) ◆町が発行する刊行物への意見や評価の報告(毎月) ◆町の重要施策に関する意見や評価の報告(年1回程度)
- 【任期】** 平成21年4月1日から平成23年3月31日まで(2年間)
- 【募集人員】** 5人(応募用紙に記入いただいた内容に基づき選考します。)
- 【報酬】** 年間49,000円(代表幹事のかたは年間54,000円)
- 【応募方法】** 所定の応募用紙(応募用紙は企画政策課にご請求ください。また、町ホームページからもダウンロードできます)に必要事項を記入し、平成21年1月30日(金)までに持参、郵送、FAX、Eメールなどでご提出ください。〒258-8502 開成町役場企画政策課 FAX82-5234 メールアドレス kikakuka@town.kaisei.kanagawa.jp
- 【問合せ】** 企画政策課 ☎84-0312